



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 菱電商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 8084 URL <https://www.ryoden.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 正垣 信雄

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 友森 裕三

TEL 03-5396-6111

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	141,037	17.0	1,855	49.4	2,045	46.0	1,544	41.1
2020年3月期第3四半期	169,940	4.4	3,663	4.3	3,785	6.3	2,621	7.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,950百万円 (32.2%) 2020年3月期第3四半期 2,874百万円 (77.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	71.05	70.68
2020年3月期第3四半期	120.73	120.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	120,144	68,347	56.8	3,135.68
2020年3月期	128,304	67,557	52.5	3,104.00

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 68,186百万円 2020年3月期 67,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		28.00		28.00	56.00
2021年3月期		28.00			
2021年3月期(予想)				28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	204,000	11.3	4,000	28.0	4,000	30.5	3,000	22.3	138.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	22,824,977 株	2020年3月期	22,824,977 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,079,456 株	2020年3月期	1,105,965 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	21,736,830 株	2020年3月期3Q	21,713,029 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現段階において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	5
(四半期連結包括利益計算書)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響により持ち直しのペースが鈍化しました。特に感染拡大が深刻な欧州では、相次いでロックダウンを余儀なくされ、10～12月期の実質GDP成長率がマイナスに陥る見通しとなり、また米国も感染拡大第3波による営業規制が全米に広がったことで特に個人向けサービスへの影響が深刻となりました。一方、早期に感染拡大を抑え込んだ中国は、成長ペースを維持しており明暗が分かれました。

国内経済においては、GDPが年率換算で戦後最悪の下落となった4～6月期から7月以降は内外の活動制限の緩和により持ち直しつつありましたが、感染拡大第2波に続く第3波の影響による先行き不透明感から民間消費や設備投資といった内需が弱い状況が続きました。

当社グループの取引に関する業界は、次世代通信規格「5G」やデータセンター向けが好調に推移し、国内の自動車生産が回復傾向にあるものの、国内の産業・工作機械の設備投資は抑制されました。

このような状況下、当社グループは、5年間の新たな成長戦略として中期経営計画「ICHIGAN 2024」を2020年4月からスタートし、「環境・安心・安全でサステナブルな社会の実現に貢献する」をテーマに掲げ、代理店、商社の枠を超えた事業創出会社として新たな価値を創造していくことを目指し、事業活動を進めてまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、エレクトロニクスにおける自動車関連向けが回復傾向にあるものの、国内外の景気悪化の影響を受け、売上高1,410億37百万円(前年同期比17.0%減)、営業利益18億55百万円(前年同期比49.4%減)、経常利益20億45百万円(前年同期比46.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益15億44百万円(前年同期比41.1%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分及び名称を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値及び名称を当該変更後の数値及び名称で比較しております。詳細につきましては「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) の II 当第3四半期連結累計期間 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

① F A システム

【当第3四半期連結売上高247億99百万円(前年同期比21.1%減)、営業利益2億2百万円(前年同期比79.3%減)】

半導体製造装置関連向けは中国市場を中心に好転しましたが、自動車関連を始めとした製造業向けが低調に推移したことにより減収となり、営業利益も大幅な減益となりました。

② 冷熱ビルシステム

【当第3四半期連結売上高198億96百万円(前年同期比19.1%減)、営業利益6億93百万円(前年同期比30.9%減)】

冷熱システム及びビルシステム分野では、活況を呈していた建設市場の反動減及び新規案件の延期・中止等の影響により減収となり、営業利益も減益となりました。

③ I C T システム

【当第3四半期連結売上高58億65百万円(前年同期比5.1%減)、営業利益2億86百万円(前年同期比0.4%増)】

スマートアグリ分野では、年度前半の大型植物工場案件の計上により堅調に推移しました。またネットワークシステム分野では、テレワーク用製品の引き合いが強くコンポーネントビジネスが堅調に推移しましたが、モニタリングなどの工場管理システムの新規受注は低調に推移し、ヘルスケア分野ではサプライビジネスが増加基調となりましたが、病院内IT設備関連ビジネスは低調に推移しました。

その結果、ICTシステム全体では減収となり、営業利益は横這いとなりました。

④エレクトロニクス

【当第3四半期連結売上高904億96百万円(前年同期比16.0%減)、営業利益8億68百万円(前年同期比42.6%減)】

国内では、自動車関連向けは生産が回復傾向にあるものの、産業機器関連向けは米中貿易摩擦の影響などによりF A関連が低調に推移し、減収となりました。

海外子会社では、自動車関連向けが東南アジア・欧米地域において後半回復基調となりましたが、前半低調に推移したことに加え、中国地域におけるエアコンなどの空調機器関連向けが天候不順等の影響を受け、減収となりました。

その結果、エレクトロニクス全体では減収となり、営業利益も減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、商品及び製品が10億7百万円、現金及び預金が11億77百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が99億65百万円減少したこと等により、資産合計は前連結会計年度末比81億59百万円減少し、1,201億44百万円となりました。

負債の部は、支払手形及び買掛金が101億70百万円、未払法人税等が10億71百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末比89億49百万円減少し、517億97百万円となりました。

純資産の部は、四半期包括利益を19億50百万円、配当金を12億17百万円計上したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末比7億89百万円増加し、683億47百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末比4.2ポイント増加し、56.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当社グループは、経営成績の向上と財政状態の安定を図り、資金需要に応じた一定の手許流動性を維持することを目的に、健全かつ効率的な財務活動を行っております。

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末比16億78百万円増加し、218億43百万円の残高となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、30億5百万円(前年同期比48億36百万円支出増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益23億円の計上と、売上債権・仕入債務の減少並びにたな卸資産の増加によるネット資金の増加24億40百万円、法人税等の支払18億28百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動により得られた資金は、1億78百万円(前年同期比7億円収入増)となりました。これは主に、長期貸付金の増加3億50百万円、投資有価証券の売買によるネット収入2億10百万円、有形固定資産の取得・売却によるネット収入1億35百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動に使用した資金は、13億39百万円(前年同期比8億34百万円収入増)となりました。これは主に、短期借入金の減少1億47百万円、配当金の支払11億90百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2020年10月28日に公表いたしました数値から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,174	21,352
受取手形及び売掛金	53,028	43,063
電子記録債権	16,626	16,165
有価証券	—	500
商品及び製品	20,857	21,865
その他	2,906	2,255
貸倒引当金	△27	△18
流動資産合計	113,565	105,183
固定資産		
有形固定資産	4,122	3,878
無形固定資産	623	638
投資その他の資産		
その他	10,432	10,852
貸倒引当金	△439	△408
投資その他の資産合計	9,993	10,444
固定資産合計	14,738	14,961
資産合計	128,304	120,144
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,064	28,894
電子記録債務	10,332	13,787
短期借入金	246	88
未払法人税等	1,127	56
その他	3,974	3,077
流動負債合計	54,745	45,903
固定負債		
退職給付に係る負債	4,875	4,727
その他	1,125	1,166
固定負債合計	6,001	5,893
負債合計	60,746	51,797
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,334	10,334
資本剰余金	7,419	7,437
利益剰余金	50,544	50,872
自己株式	△832	△812
株主資本合計	67,465	67,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,060	1,557
為替換算調整勘定	314	56
退職給付に係る調整累計額	△1,425	△1,257
その他の包括利益累計額合計	△49	355
新株予約権	142	160
純資産合計	67,557	68,347
負債純資産合計	128,304	120,144

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	169,940	141,037
売上原価	151,373	125,432
売上総利益	18,567	15,605
販売費及び一般管理費	14,903	13,749
営業利益	3,663	1,855
営業外収益		
受取利息	42	29
受取配当金	119	105
持分法による投資利益	53	50
その他	83	120
営業外収益合計	298	305
営業外費用		
支払利息	26	17
売上割引	38	30
為替差損	82	52
売上債権売却損	12	4
その他	17	10
営業外費用合計	176	115
経常利益	3,785	2,045
特別利益		
投資有価証券売却益	22	—
関係会社株式売却益	—	199
固定資産売却益	—	55
特別利益合計	22	254
税金等調整前四半期純利益	3,808	2,300
法人税等	1,186	755
四半期純利益	2,621	1,544
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,621	1,544

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,621	1,544
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	356	496
為替換算調整勘定	△287	△258
退職給付に係る調整額	184	167
その他の包括利益合計	253	405
四半期包括利益	2,874	1,950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,874	1,950
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,808	2,300
減価償却費	402	311
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7	△8
受取利息及び受取配当金	△161	△134
支払利息	26	17
持分法による投資損益 (△は益)	△53	△50
固定資産売却損益 (△は益)	—	△55
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△199
売上債権の増減額 (△は増加)	6,203	10,055
たな卸資産の増減額 (△は増加)	914	△1,149
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,272	△6,465
その他	580	77
小計	9,441	4,699
利息及び配当金の受取額	205	154
利息の支払額	△26	△19
法人税等の支払額	△1,778	△1,828
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,841	3,005
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	200	—
有形固定資産の取得による支出	△104	△75
有形固定資産の売却による収入	0	210
無形固定資産の取得による支出	△91	△88
投資有価証券の取得による支出	△527	△246
投資有価証券の売却による収入	74	456
長期貸付けによる支出	—	△350
その他	△72	270
投資活動によるキャッシュ・フロー	△521	178
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△985	△147
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△1,188	△1,190
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,173	△1,339
現金及び現金同等物に係る換算差額	△235	△166
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,910	1,678
現金及び現金同等物の期首残高	17,107	20,165
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,018	21,843

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りに用いた仮定は、第2四半期報告書の追加情報に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA システム	冷熱ビル システム	ICT システム	エレクト ロニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	31,440	24,578	6,180	107,741	169,940	—	169,940
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	—	—	0	△0	—
計	31,440	24,578	6,180	107,741	169,940	△0	169,940
セグメント利益(営業利益)	978	1,003	284	1,511	3,777	△113	3,663

(注) セグメント利益の調整額△113百万円には、各報告セグメントに配賦されていない全社費用△113百万円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない新規事業開発費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA システム	冷熱ビル システム	ICT システム	エレクト ロニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	24,799	19,896	5,865	90,475	141,037	—	141,037
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	20	20	△20	—
計	24,799	19,896	5,865	90,496	141,057	△20	141,037
セグメント利益(営業利益)	202	693	286	868	2,050	△194	1,855

(注) セグメント利益の調整額△194百万円には、各報告セグメントに配賦されていない全社費用△193百万円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない新規事業開発費用であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、組織変更を契機に報告セグメントの見直しを行い、従来「ICT施設システム」に含めておりました「ビル事業」を「冷熱システム」へ統合し、また報告セグメントの名称を「冷熱システム」から「冷熱ビルシステム」に、「ICT施設システム」から「ICTシステム」にそれぞれ変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分及び名称により作成しております。

3. 補足情報

ご参考までに、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の地域別売上高は、以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

【地域別売上高】

(単位：百万円)

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
(81.7%) 138,786	(9.5%) 16,059	(6.2%) 10,535	(2.0%) 3,477	(0.6%) 1,081	(18.3%) 31,154	(100.0%) 169,940

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

【地域別売上高】

(単位：百万円)

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
(82.4%) 116,211	(10.0%) 14,127	(5.0%) 6,978	(1.7%) 2,431	(0.9%) 1,289	(17.6%) 24,826	(100.0%) 141,037

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比であります。